

設定対象	アプリ名	設定内容	設定箇所	手順の説明箇所	備考	入力欄(メモ欄) (ユーザー入力欄)	利用シーン			
							新規導入時 または ネットワーク構成変更時	エッジコンピューティングデバイス 変更/追加時 (連携する本製品がない場合)	エッジコンピューティングデバイス 変更/追加時 (連携する本製品がある場合)	
本製品	基本アプリ	エッジコンピューティングデバイス(コンピューター部)のIPアドレス	C:\SmartMaintenance\Batch\config.ini	[common] hostAddress=IPアドレス のIPアドレス部分を変更	設定反映には再起動が必要		○	○	○	
		エッジコンピューティングデバイス(コンピューター部)のIPアドレス	C:\SmartMaintenance\mb.ini	[cacheService] url = http://IPアドレス:10080/squid/ のIPアドレス部分を変更	設定反映には再起動が必要		○	○	○	
		エッジコンピューティングデバイス(コンピューター部)のIPアドレス	C:\SmartMaintenance\nginx\conf\nginx.conf	location / { proxy_pass http://IPアドレス:18081/; location /maintenance/ { proxy_pass http://IPアドレス:18080/; location /squid/ { proxy_pass http://IPアドレス:8000/; location /apcache/ { proxy_pass http://IPアドレス:8002/; location /apcacheui/ { proxy_pass http://IPアドレス:8003/; location /security/ { proxy_pass http://IPアドレス:8010/; location /nodejs/ { proxy_pass http://IPアドレス:8001/; }のIPアドレス部分を変更	設定反映には再起動が必要		○	○	○	
	インターネットキャッシュ機能	DNSサーバーのIPアドレス	管理画面 「インターネットキャッシュ管理」-「キャッシュ設定」-「DNSサーバ」	導入ガイド -第4章セットアップ -3 基本機能-データキャッシュ機能(製品本体) 「インターネットキャッシュ機能の設定」				○	○	○
		親プロキシサーバーのIPアドレス	管理画面 「インターネットキャッシュ管理」-「キャッシュ設定」-「親プロキシサーバ」	導入ガイド -第4章セットアップ -3 基本機能-データキャッシュ機能(製品本体) 「インターネットキャッシュ機能の設定」	必要に応じて設定			○	○	○
		キャッシュデータを使用する端末のネットワーク範囲	管理画面 「インターネットキャッシュ管理」-「キャッシュ設定」-「ローカルネットワーク」	導入ガイド -第4章セットアップ -3 基本機能-データキャッシュ機能(製品本体) 「インターネットキャッシュ機能の設定」				○	○	○
		連携対象のエッジコンピューティングデバイスのIPアドレス	管理画面 「インターネットキャッシュ管理」-「キャッシュ設定」-「データ連携対象」を設定	導入ガイド -第4章セットアップ -3 基本機能-データキャッシュ機能(製品本体) 「インターネットキャッシュ機能の設定」	本製品が複数台存在し、連携する際の設定			○	-	○
	サーバファイルキャッシュ機能	エッジコンピューティングデバイス(コンピューター部)のIPアドレス	学習支援アプリサーバの管理ファイル格納フォルダのパス C:\CommonList.conf	導入ガイド -第4章セットアップ -3 基本機能-データキャッシュ機能(製品本体) 「サーバファイルキャッシュ機能設定ファイルの変更」	学習支援アプリサーバの管理ファイル格納フォルダのパスは、「C:\api\cache\api\cacheEngine\api\apiCacheDefault.properties」のconfig.file.dir.serverに記載があります。			○	○	○
	動作状態監視ツール	監視結果送付先のメールアドレス	C:\Program Files\FCCLPProcessAliveWatcher\WinMailSetting.ini	[setting] . ToMailAddress=メールアドレス のメールアドレス部分を変更				○	○	○
		SMTPサーバーのIPアドレス SMTPサーバーのポート番号 通知メールの差出人メールアドレス	C:\Program Files\FCCLPProcessAliveWatcher\WinSMTPSetting.txt	ファイルのコメントに従い適時変更	ファイル修正時は、適時ファイルを一度デスクトップ上にコピーしてから修正してください。			○	○	○
	お手入れナビ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	端末情報収集ツール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無線LAN接続台数表示	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無線LAN診断	エッジコンピューティングデバイス(アクセスポイント部)のIPアドレス	C:\ProgramData\FCCLPWirelessAnalysis\WMAAPConfig.xml	<Configuration> . . IPAddress>X.X.X.X</IPAddress> のIPアドレス部分を変更				○	○	○	
優先接続設定	エッジコンピューティングデバイス(アクセスポイント部)の設定	-	導入ガイド -第4章セットアップ -1 基本機能-初期設定(製品本体) 「優先接続設定」				○	○	○	

設定対象	アプリ名	設定内容	設定箇所	手順の説明箇所	備考	入力欄(メモ欄) (ユーザー入力欄)	利用シーン			
							新規導入時 または ネットワーク構成変更時	エッジコンピューティングデバイス 変更/追加時 (連携する本製品がない場合)	エッジコンピューティングデバイス 変更/追加時 (連携する本製品がある場合)	
タブレット端末	インターネットキャッシュ機能	プロキシ設定	導入ガイド -第4章セットアップ -2 基本機能-初期設定(タブレット端末) 「プロキシの設定」				○	○	○	
		エッジコンピューティングデバイス(コンピューター部)のIPアドレス※	C:\ProgramData\FCCLPProxyController\WinIPAddressFromSSID.ini	[ssid] SSID名=IPアドレス:10080 のIPアドレス部分を変更	※プロキシ自動設定機能を使用している場合		○	○	○	
		エッジコンピューティングデバイス アクセスポイント部のSSID名※	C:\ProgramData\FCCLPProxyController\WinIPAddressFromSSID.ini	[ssid] SSID名=IPアドレス:10080 のSSID名部分を変更	※プロキシ自動設定機能を使用している場合		○	○	○	
	サーバファイルキャッシュ機能	-	-	-	-	-	-	-	-	
	端末情報収集ツール	エッジコンピューティングデバイス(コンピューター部)のIPアドレス	C:\ProgramData\FCCLPMainInfoCollection\WinIPAddressFromSSID.ini	[ssid] SSID名=IPアドレス:10080 のIPアドレス部分を変更				○	○	○
		エッジコンピューティングデバイス アクセスポイント部のSSID名	C:\ProgramData\FCCLPMainInfoCollection\WinIPAddressFromSSID.ini	[ssid] SSID名=IPアドレス:10080 のSSID名部分を変更				○	○	○
	無線LAN接続台数表示	エッジコンピューティングデバイス(コンピューター部)のIPアドレス	C:\Program Files (x86)\FCCLPWirelessLANConnectionMonitor\WinIPAddressFromSSID.ini	[ssid] SSID名=IPアドレス:10080 のIPアドレス部分を変更				○	○	○
		エッジコンピューティングデバイス アクセスポイント部のSSID名	C:\Program Files (x86)\FCCLPWirelessLANConnectionMonitor\WinIPAddressFromSSID.ini	[ssid] SSID名=IPアドレス:10080 のSSID名部分を変更				○	○	○
	無線LAN診断	-	-	-	-	-	-	-	-	
	優先接続設定	エッジコンピューティングデバイス(コンピューター部)のIPアドレス	C:\Program Files (x86)\FCCLPPriorityConnectionSetting\WinIPAddressFromSSID.ini	[ssid] SSID名=IPアドレス:10080 のIPアドレス部分を変更				○	○	○
エッジコンピューティングデバイス アクセスポイント部のSSID名		C:\Program Files (x86)\FCCLPPriorityConnectionSetting\WinIPAddressFromSSID.ini	[ssid] SSID名=IPアドレス:10080 のSSID名部分を変更				○	○	○	